「埼玉医科大学病院こども養育支援チーム（SCAP）で対応した

症例についての後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院 SCAP の委員会内で検討・報告された過去の症例の診療録と委員会議事録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、*埼玉医科大学病院 IRB* の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、過去の委員会記録やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

調査対象期間：2008 年 1 月 1 日 ～ 2024 年 12 月 31 日
上記期間に当院 SCAP が介入し、委員会内で提示され、検討された全症例

２．研究の目的

当院における過去の養育支援を必要とした妊婦及びその新生児症例と小児症例について、議事録と電子カルテよりさかのぼって集積し、養育支援を要した症例の全体数の把握、虐待件数の把握及び種類、その対応や転帰（その後どうなったのか）、地域や児童相談所の介入の有無などを議事録から抽出し、現状と傾向を把握するとともにデータベース化することを目的としています。

３．研究期間

病院長の許可後 ～2027 年 03 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

担当医師は SCAP の過去の委員会議事録および該当患者の診療録より研究に必要な情報を取得します。研究のために取得した情報は集積・解析された情報（データ）は、同機関内の施錠可能な保管庫で研究終了後も委員会記録としてデータベース化します。
※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院こども養育支援チームにおいて、研究責任者である　本多正和　が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

診療録と委員会議事録より取得します。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院　小児科　板澤寿子（研究責任者）

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院　病院長　篠塚　望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。
利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院　小児科　板澤寿子
住所：〒350-0495　埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電話：049-276-1218（ 土日祝日を除く 8：30～17：30 ）
本部棟 5F　小児科　事務カンファレンス室

〇研究課題名：埼玉医科大学病院こども養育支援チーム（SCAP）で対応した症例についての後方視的検討
〇研究責任者：埼玉医科大学病院　小児科　板澤寿子